

2023 年度 事業報告

2023 年度は、自治体サポートの充実およびブックスタートの認知・理解・共感の輪を広げる広報につながる取り組みを中心に行いました。

ブックスタート実施自治体数 **1,105** 市区町村 → P8: 全国の実施自治体一覧

全自治体数 1,741 / 普及率 63.5% (2024 年 3 月末)

		2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
ブック スタート	自治体数 市区 町村	36	319	572	650	571	598	635	685	705	752	806	834	866	902	946	986	1,025	1,036	1,051	1,066	1,092	1,096	1,105
	普及率 %	1.0%	10.0%	18.0%	26.0%	31.0%	33.0%	35.0%	38.0%	40.0%	43.0%	46.0%	48.0%	50.0%	51.8%	54.3%	56.6%	58.9%	59.5%	60.4%	61.2%	62.7%	63.0%	63.5%
全国	自治体数 市区 町村	3,246	3,235	3,155	2,544	1,844	1,827	1,816	1,800	1,750	1,750	1,742	1,742	1,742	1,741	1,741	1,741	1,741	1,741	1,741	1,741	1,741	1,741	1,741
	年間 出生数 万人	118.2	116.5	113.5	112.2	107.4	110.5	110.3	110.5	108.2	108.4	106.2	105.1	104.3	101.9	102.0	99.4	96.3	93.5	88.4	86.0	83.0	78.8	72.7

* 年間出生数：日本における日本人+日本における外国人。2023 年は概数のため、日本における外国人は含まれない。

01 | 自治体への情報提供

自治体からの問い合わせ・相談対応／資料提供／関係構築

- ブックスタートを実施中・実施検討中の市区町村からの問い合わせ・相談に対応。
- 事業実施をサポートする資料の作成と無料提供
(ニュースレター、ハンドブック、当 NPO 刊行の書籍、視覚障害／日本語以外が母語の対象者向け資料など)。

実施自治体に関する情報収集／取材・見学

- 実施自治体から、実施状況に関する情報を収集し集計。
- 取材見学訪問 (計 5 件)



実施自治体の対象者それぞれに合った対応

- 障害のある対象者、日本語以外を母語とする対象者を想定した資料や情報の提供。
 - ▶ てんやく 絵本への交換対応 (1 件)
 - ▶ 多言語対応資料の提供、多言語対応絵本の試験的提供
 - ▶ 13 言語のあいさつポスターの作成とデータ提供
- 障害や多言語対応に関連する分野、ブックスタート事業の対象となり得る病院や乳児院で 過ごす赤ちゃんに関する情報収集。障害では「点字つき絵本の出版と普及を考える会」、多文化多言語では「むすびめの会」の会合に参加した。



多言語対応絵本



13 言語あいさつポスター

ニュースレターの発行

- 年4回発行。ウェブサイトにてPDFを公開。
- 実施自治体、都道府県、会員や出版関係者などに郵送。



未実施や独自実施の市区町村に対する情報発信

- 都未実施や独自実施（NPOブックスタートから絵本等を購入せずに活動を実施）の自治体に対して、無償資料の一部を提供
- 2020年度から始めた「赤ちゃんへの絵本贈呈事業全国調査」への協力依頼時に接点を持ち、ブックスタートやNPOブックスタートのサポートについて、資料を送付し紹介。

都道府県・国への情報発信

- 図書館・教育委員会・子育て支援・母子保健の担当者へニュースレターを送付。
- 内閣府（子ども・子育て本部）の依頼で「家族の日」「家族の週間」の広報に協力。
- 子ども家庭庁（成育局）に活動を紹介。

02 | 自治体への研修実施

全国研修会を開催（オンライン・NPOブックスタート主催）

● プログラム

[講演] 子どもの声を聴く～子どもの権利に根ざしたウェルビーイングな社会に向けて
講師 小澤いづき氏

(認定NPO法人PIECES代表理事・児童精神科医・京都大学医学研究科研究協力員・子ども家庭庁アドバイザー)

[報告・事例紹介]

- 「子どもまんなか社会」とブックスタート（NPOブックスタート）
- すべての赤ちゃんに絵本を～ボランティアと共に～（神奈川県藤沢市 総合市民図書館）
- 「体験」と共に届けたい思い～コロナ禍を経て～（愛知県尾張旭市 健康課）

[ライブ配信] 2023年10月20日（事前申込み数：740名）

[見逃し配信] 2023年11月1日～2024年1月31日



各自治体の研修会に協力

- 職員派遣（計30件）、オンライン実施（計8件）。

03 | ブックスタート・パックの販売事業

ブックスタート・パックの流通

- 自治体からの注文に基づき、絵本、アドバイスブックレット、布製バッグを販売。
- 災害特別対応として、能登半島地震の避難住民受入自治体へバッグの無償提供。
- 絵本選考規定に基づき、3年に1度の絵本選考会議を開催。
2024年度から2026年度提供の新しいブックスタート絵本30冊が選出された。



04 | 社会に向けた広報活動

各種媒体・SNSを通じた情報発信・リリース配信／取材・問い合わせへの対応

- リリース配信（新聞、専門誌、業界紙、読書関連団体など）について、配信サービス「PR TIMES」の非営利団体プログラムを利用を開始。新たな媒体からの原稿執筆や情報掲載につながった。
- メールニュース送信（年4回・送付先数 約1,500件）
- 講師派遣2件：鳥取県図書館大会 分科会、NPO本の学校 研修会

「いっしょにえほん」プロジェクト

- ブックスタート浸透の土台となる「シェアブックス」を社会に広げる取り組みとして、定期的にInstagramに「#いっしょにえほん」として写真を投稿。
- 前年に引き続き2023年春にSNS上で写真コンテストを開催し、子どもとの絵本のひとときの写真とコメントを募集。受賞作品は、Instagramで定期的に発信した。 @bookstart_japan ▶



「子ども・社会を考える」プロジェクト 講演録発行

- 『つながりあう力～官民協働で社会をつくる～』
元厚生労働省事務次官 村木厚子 著（2023年4月発行）
- 『絵本は親子のゆりかご』
司書 伊藤明美 著（2024年1月発行）



書籍の販売

- 『絵本は心のへその緒』（松居直 著）、『ブックスタートの20年』および講演録全タイトルについて、オンラインショップで販売。卸売にも対応。
- 各タイトルの電子版を作成し、主要ネット書店で販売。

グローバルネットワークに参加。海外の情報収集と日本の経験を発信

- 世界の27の活動が情報共有を行う「Global Network for Early Years Bookgifting」の主要メンバーとして、ネットワークの運営に携わる。
- テーマを設定して各活動がプレゼンテーションを行う年4回の定例会議のほか、読書や教育活動を行う団体からのゲストスピーカーを招いた会議を年2回ほど行う。
- 各活動の経験から得られた情報を「立ち上げ」「実施」「継続」の категорияに分けてまとめた「ツールキット」の企画/制作に携わる。



会員交流会 開催

- 2023年5月に法人会員向け交流会を開催（会場提供：株式会社 講談社）。23社38名の参加。

プログラム

- ▶ 「ブックスタートの20年と子どもを取り巻く現状」 秋田喜代美氏（学習院大学教授／東京大学名誉教授）
- ▶ 「ブックスタートの20年に寄せて」 下司晋介氏（株式会社 童心社 取締役）



05 | 調査研究

「赤ちゃんへの絵本贈呈事業」に関する全国調査

- 2020年度から開始した全国調査。
毎年調査することで資料性を高め、また定期的に未実施・独自実施自治体ともコンタクトし関係構築をはかった。